

古賀市長
田辺一城様

第5次総合振興計画策定方針に関する質問

日々の精力的活動に敬意を表します。

さて、第5次総合振興計画の策定方針について質問します。

現在の第4次総合振興計画は2021年度が目標年度となっています。2022年度から次期総合振興計画の期間となる予定です。

私は古賀市の将来像にとって次期計画は大変重要だと認識しています。市長が強調している持続可能なまちづくりの裏付けでもあります。

しかし、市長の所信表明や施政方針にはこの点について全く触れられていません。また議員の施政方針に対する質疑や一般質問通告にも残念ながら取り上げられていません。

市長は行政の継続性を強調します。しかし先進自治体の経験をお聞きすると、時代の変化のもとで見直しが必要となったもの、見込みと大きくずれてきたものなどは積極的に修正、見直すことが行政の責務だという考え方が確立されています。また市長選挙でのマニフェストは既存の総合計画を上回るまちづくりの指針だと言われています。

そこで以下質問します。

- ①第5次総合振興計画策定の方針の概要を説明してください。
- ②他自治体の取り組みを参考に見ると、次期計画の3年前、すなわち2019年度には市民アンケートを実施しているケースが多くあります。古賀市では2019年度に市民アンケートを計画しますか。
- ③アンケートについては、設問のあり方も工夫が必要です。重要度と満足度を聴取したり、各事業に対する費用負担額を聞き出す方法も注目されています。どのようなアンケートを目指していますか。
- ④次期計画策定にあたって財政見通しを示すべきと思いますがいかがですか。市民と財政状況を共有し、選択と集中を市民とともに判断することが大切だと思います。市民とともにSIM2035の取り組みをしたら良いと思いますがいかがですか。
- ⑤次期計画策定にあたって、目標の設定をどう考えていますか。現計画の人口目標65000人は見直しが必要と判断しています。久山町や宮若市が取り入れている「新国富論」「新GDP」の考え方を採用すべきと考えていますがいかがですか。

以上、メールでの回答を求めます。3月15日までに回答をお願いします。

2019年3月6日

奴間 健司